

第1回歴史探究講座が好評のうちに終わる

“道シリーズ・パートⅠ”・「古代の川崎市域の道」が9月12日（土）に大山街道ふるさと館において開催されました。当日は満席に近い多くの方が出席され、講師の村田文夫氏の講話に聞き入るように耳を傾けていました。

講話では、昨年川崎初の国史跡に指定された橋樹官衙遺跡群に焦点をあて、考古学の立場から話が展開されました。とくに、川崎市域の橋樹官衙が奈良の都と武蔵国・府中との間を取り持つ大切な役割を担っていたことや当時の人々の暮らしなど古代のロマンをかき立てる話に時間を忘れるほどでした。講演後、「今、何気なく通っている道だが、海、川、道などが古代の人々にとって、交通手段として大変重要な役割を果たしていたことがよくわかった。」などの感想をいただきました。



第2回歴史探究講座が盛況のうちに終了

“道シリーズ・パートⅡ”・「中世の川崎市域の道」では、63人の方が参加され、10月17日（土）盛況のうちに終了しました。講師に中西望介氏（郷土史研究家）をお迎えして、鎌倉道や府中道が果たしてきた役割について古地図・文献・伝承をもとに詳しく解説をしていただきました。

鎌倉道は、“いざ、鎌倉”という言葉通り、全国の御家人にとって“戦の道・生活の道”であり、鎌倉幕府への道として強く結ばれていました。また、川崎市域には、“奥大道”と呼ばれる鎌倉街道の重要な幹線道路があったことについてもお話していただきました。

「道は、果たしてきた機能などを固定的に捉えるのではなく、いろいろな変遷があってその時代背景などによって道が成り立っていることを考えてくことが大切なのではないか。」というまとめの話がありました。次回の道シリーズへの期待が高まる講演会となりました。



高津区寺子屋事業（久本小）への協力

今年も昨年に引き続いて、ふるさと館の職員が講師となり、10月7日と10月14日の2日間に渡って、久本小学校の寺子屋で授業を行いました。両日とも全学年80人の子供たちが集まり、“クイズで楽しもう久本小のまち”に挑戦しました。1日目は、学校や身近な場所に焦点をあて〇×クイズを楽しみました。2日目は、溝口の町や二ヶ領用水に焦点をあて、クイズでチーム対抗戦を行いました。「楽しかった、また、やってほしい。」と多くの子供たちから要望もありました。

子供たちにとって、クイズ遊びを通して自分たちの町の良さを再発見した1日になりました。



子ども大山街道探検クラブ活動の紹介

～9月 二ヶ領用水がきれいになったよ！～

夏休みが明けて最初の探検クラブは、二ヶ領用水の清掃活動でした。子供たちが一番楽しみにしている活動内容の一つです。

当日は大石橋のたもとで、二ヶ領用水ウォッチングフォーラムの方から清掃に使う道具のお話を伺いました。早速、水路に沿って、空き缶やゴミをマジックハンドを使って、手際よく拾い上げ収集車に収めていました。地域住民の方に「ありがとう。おかげできれいになりました。」と声をかけられ、探検クラブの子供たちは、とてもうれしそうに清掃活動に取り組んでいました。

清掃活動を通して地域の多くの方とふれあうことができた一日となりました。



汗を流してがんばる子供たち

～10月 光明寺・二子神社方面の史跡を訪ねて～

10月の探検クラブは、二子方面の探検でした。「二子神社」や「岡本かの子文学碑」など街道沿いにある名所や寺院の話を伺いました。火事になっても燃えにくい「蔵造り」の田中屋呉服店や「光明寺」は明治になって、全国に初めて学校ができた時に、本堂がそれに当てられ「二子学舎」と言われたことなども教わりました。



地域の史跡を興味深く見学

大山街道ふるさと館 職場体験学習

近隣の川崎市立東高津中学校の生徒3人が、9月9日（水）当ふるさと館を訪れ、施設利用や事業について職場体験学習をしました。当日は、館長の案内で、館内の展示を見学し、歴史資料などについて熱心に説明を聞くなどして学習を深めました。

最後に生徒達から「ふるさと館には、初めて来ました。円筒分水や大山街道のことを詳しく知ることが出来てとても良かったです。」と感想を述べてくれました。



当館で職業体験学習をする中学生

好評のうちに終了

諏訪河原の歴史

9月1日から10月31日まで、「諏訪河原村」のミニ企画展を実施しました。地域を取り上げたミニ企画展は、今回で5回目になります。

この地域の特徴は、多摩川が洪水を起こす度に、境界争いが絶えないところでした。「諏訪の一本松」や「諏訪の古墳群」に多くの来館者が目を留めていました。



